

平成21年度 実施メニュー実施結果表

No. 8

取組名	クマ被害総合対策事業（新規）
流域名	鬼怒川流域、渡良瀬川流域、那珂川流域
実施箇所及び実施日	検討委員会の開催 11月16日 1月27日
取組の背景及び必要性	近年、クマによる樹木の皮剥被害が、国有林のみならず民有林においても増大し、深刻な状況となっているため、効果的な被害防除手法の検討が重要な課題となっている。
取組の内容	<p>(1) 地方自治体及び関係者等と連携し、塩那森林管理署管内の大沼、コナコ、鹿ノ股及び西沢地区（4地区）と日光森林管理署管内の餅ヶ瀬、黒部地区（2地区）において、被害地概況調査を実施。 また、塩那森林管理署管内に12箇所、日光森林管理署管内に6箇所、被害状況の毎木調査を行う約1haのプロットを設定するとともに、日光署のプロットについては、更に3種類の被害防除対策を実施することにより、被害防止効果の把握を継続実施することとした。</p> <p>(2) 「野生鳥獣との共生に向けた生息環境等整備モデル事業」の委託調査により、当該プロットにおける現時点の被害状況把握調査を実施し、学識経験者、自治体、地元関係者等による検討委員会を11月16日及び1月27日に開催した。</p> <p>平成22年度以降も、継続的に調査を実施することで、効果的な対策を検討していくこととしている。防除対策等は、民有林・国有林が連携して行う必要があることから、林業関係者や自治体とお互いに情報交換を行う。</p>
国有林担当部局・役割	局、日光森林管理署、塩那森林管理署：モデル事業の委託を通じた調査の実施。
連携協働相手先・役割	宇都宮大学、栃木県、管内市町

【参考資料】

取組名	クマ被害総合対策事業（新規）
	<p>各種のクマ被害防除対策を実施している固定プロット</p> <p>剥皮防除資材設置 ウィリー</p>
ワイルド	
	リンロンテープ